

● オビヒロホコテンの基本理念 ●

▶ まちの現状

車社会の進展、経済成長による市街地拡大、大型店・学校・病院等の郊外移転などいろいろな要因の影響で、結果として「まちなか」の空洞化が見られるようになりました。

▶▶ まちの活用

中心市街地には、商業機能や様々な都市機能が集まっているので、これらの市民共通の財産を無駄にすることなく、有効活用していくことが今求められています。

▶▶ 基本姿勢

中心市街地の商業者だけではなく、まちづくりを考える多くの市民の手で、まちなかに賑わいをもたらし、快適な空間づくりを行なうことが、今求められているのです。

▶▶ 目標

まちなかの賑わい創出と活性化により、「まちを訪れる人が増え、人と人との交流が盛んになること」、「まちに住む人が増えること」、そして「地域コミュニティの再生」につなげていくことが最大の目標です。

▶▶ 行動の視点

イベントのみにとらわれず、多くの市民が共通認識を持って、その活用方法を幅広く検討し、魅力ある空間になるように考える必要があります。また、より多くの人が取り組みの実情を理解し、認知度が高まることで、取り組みの輪がさらに広がって行くことでしょう。

▶▶ 効果

歩行者天国がひとつのきっかけとして、まちなかに賑わいが生まれる
⇒ 商店街が活性化する（商店街・個店における魅力アップの努力） ⇒ 商業機能が充実 ⇒ ほかの都市機能も充実 ⇒ まちなかの活力アップ ⇒ まちなか定住・交流による人口増加 ⇒ 地域コミュニティの再生 ⇒ まち全体に活力が波及 ⇒ さらにまちが賑わう という好循環のスパイラル（らせん状）の流れができれば成功です。